

大分教育事務所訪問 73

大分市立寒田小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「思いやりをもち、自ら学び自ら考える心身ともにたくましい児童の育成」を達成するために、「そうだ！〇〇にチャレンジしよう」を合い言葉に、3つの部会を中心に計画的に実践をすすめ、さらに学年会を充実させることで学年の共通理解も図っています。そのような、縦と横の連携が充実しているからこそ、本校が推進している教科担任制や、タブレットの活用等も効果的に行われていると感じました。さらに、低学力層の子ども達にも自信を持たせるために、九九の指導などは校長先生をはじめ全職員で取り組まれていることも素晴らしいと思いました。

今後は、協議の中で確認した「相手を思う力」等、「学校として育成を目指す（教科横断的な）資質・能力」を明確にしてはいかがでしょうか。

※参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 P47 2教科等横断的な視点に立った資質・能力 例：ア 言語能力」

そのことで、職員のベクトルが揃いやすくなり、3部会と学年部の協働的な取り組みやカリキュラム・マネジメントが推進されると思います。また、学校経営計画表の各取組指標は、どの「資質・能力（3本柱）」を育てるために行うのかを明確にすることで、教職員や保護者・地域の方との共通理解が推進されると思います。

このように、教職員や学校関係者の上位目標の理解がすすむと、方法（取組）はミドルリーダーや担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まり、教職員だけでなく、子ども自身の意識も高まると思いました。

授業から学ぶ

5年生の教科担任制の授業を参観させて頂きました。何よりも子ども達が生き活きと授業に参加し、つぶやきや学び合いが自然に行われていました。また、4年生国語では、自分の意思をハンドサインで確認するなど全員が授業に参加していました。2年生音楽では、動作をする前に子ども達が考えたり意見を出し合ったりすることから、本時のねらいにせまる授業だと思いました。

細やかな指導案と板書計画を提出して頂きありがとうございました。今後は、授業の「振り返り」には、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」として記入してみてもはいかがでしょうか。そのことで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になり授業力がより向上すると思いました。



NO.321 2021年9月 大分市立寒田小学校

考える子

自分で考え、判断して行動する。そのようなことを繰り返すことで、自信がついてくる。



NO.322 2021年9月 大分市立寒田小学校

優しい子

優しさのアンテナが高い人は友達の困りにすぐに対応できる。そして、自分も成長する。



NO.323 2021年9月 大分市立寒田小学校

たくましい子

自分の意思を表現できるのは、安心安全な教室だから。何度でもチャレンジできる。